

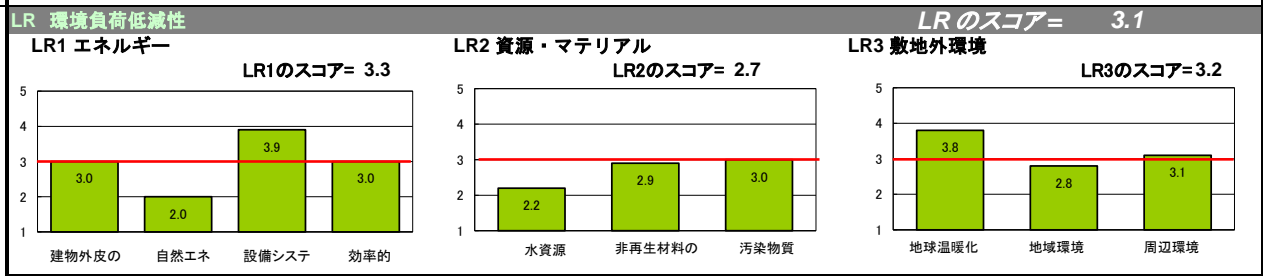
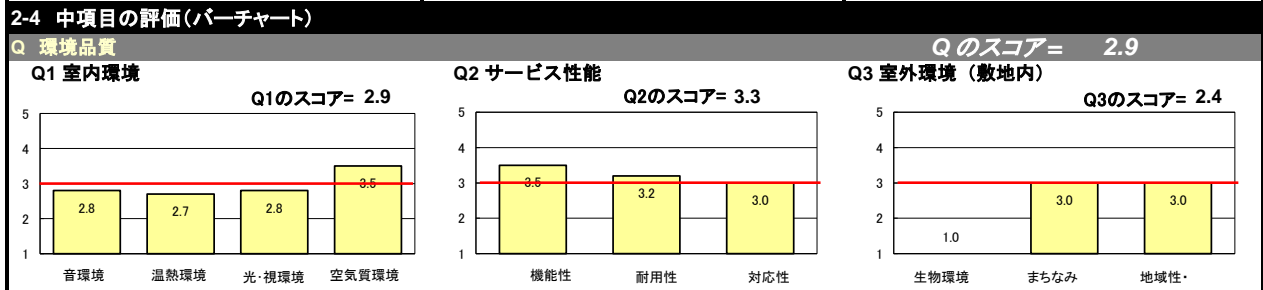
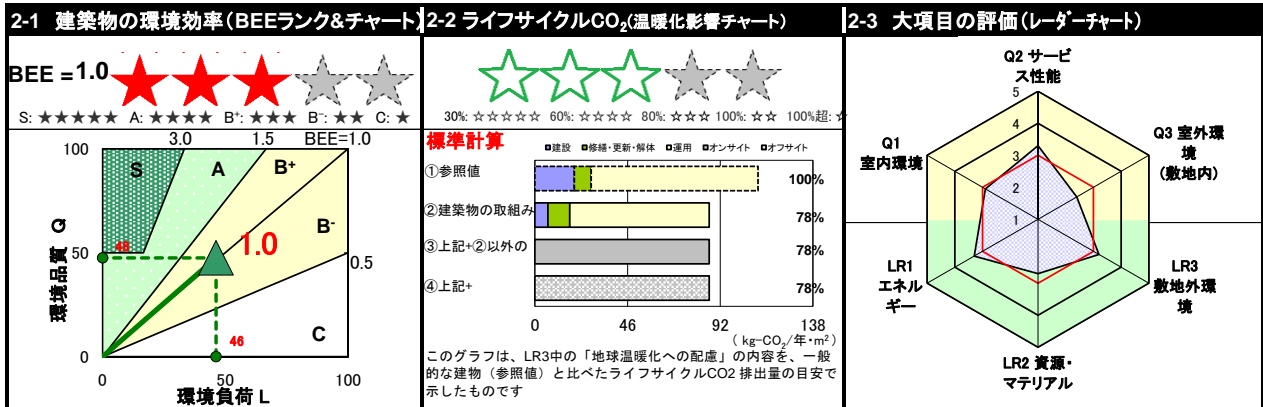
CASBEE神戸ver.3

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ラシュレ神戸フラワーロード三ノ宮	階数	地上11F
建設地	神戸市中央区加納町二丁目5番7、	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	155人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2019年10月15日
敷地面積	519㎡	作成者	株式会社D&D建築設計事務所
建築面積	423㎡	確認日	
延床面積	4,042㎡	確認者	野口英雄



3 CASBEE神戸の重要項目

バリアフリー計画	建築物の耐震性等	まちなみ・景観への配慮
Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 4.0	Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振 3.0 Q-2/2.4 信頼性 3.2	Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 3.0
配慮の概要 バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たしている。	配慮の概要 建築基準法に定められた耐震性を有する。 精密機械の地下空間への設置を避ける・災害時にCATVなどにより災害情報が入手できる等、地震時などの災害において設備機能を維持できるように配慮している。	配慮の概要 建物高さ、壁面位置、外装・屋根・庇・開口部等の形状や色彩において、周辺のまちなみや風景にバランス良く得調させ、植栽により、良好な景観を形成している。
その他の配慮事項 特になし。		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される